



わらしべの里通信



たくさんの保護者の方たちが来てくれました



パソコン作業を見学している保護者の方々



さをり織り作業を見学している保護者の方々



【今回の記事は、パソコン房所属の仲間・ペンネーム：混むがお送りします】令和8年2月18日。わらしべの家では、なんと17年ぶりとなる「作業参観」が開かれました。「普段、どんなふうに住事をしているのか見てみたい」そんな保護者のみなさんの声に応える形で実現した1日です。

保護者の方たちが来てくれました

2つの作業所では、さをり織りの生地づくりや、その生地を使った小物などを製造・販売する自主製品事業、名刺や封筒の印刷物、ホームページ制作まで手がけるPC事業、工業製品の組み立てや検査を行う請け負い作業など、3つの事業に仲間たちが日々取り組んでいます。この日は午前と午後に分かれ、22名の保護者がゆつくりと作業所内を見学しました。いつもの風景のはずなのに、どこかそわそわ、でもどこか誇らしげ。仲間たちの背筋が、いつもより少しだけ伸びて見えました。

「がんばってるね」が飛び交う作業室で

保護者の方々も、ただ見学するだけではありません。自分の子どもと一緒に働く仲間たちに「がんばってるね」と声をかけたり、作業の様子に目を細めたり、久しぶりの井戸端会議に花を咲かせたり…。和やかな雰囲気の中、楽しい時間が流れていました。

17年ぶりに重なった視線と笑顔

仲間たちも、この日はいつもと違う気持ちだったようです。「反物をほめられて、すごくうれしかった」「参観なんて学校以来だから、緊張した」緊張しながらも、誰かに見てもらえることを喜び、ほめられて胸を張る姿は、とてもまぶしく、そしてやさしい光に包まれています。

緊張も、うれしさも、ぜんぶ宝物

17年ぶりの参観日。そこにあつたのは、作業の様子だけでなく、“つながり”や“信頼”、そして“あたたかさ”そのものでした。



わらしべの里のあたたかなクリスマス会 開催される



【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】令和7年12月20日。わらしべの里のクリスマス会が開かれました。令和7年の会場は吹上地区公民館大交流室でした。今年は、保護者の参加もあり、仲間たちの笑顔にお父さんお母さんの安心した表情が重なり、会場はいつも以上にぎやか。まるで大きな家族のような雰囲気でした。

仲間たちの笑顔があふれた温かな時間

金坂尚慶理事長の「今日、こうしてクリスマス会を開くことが出来てうれしい限りです。来年には作業参観を予定しております。よろしく願いいたします」という挨拶のあと、栃木市出身のお笑い芸人トップガンさんが登場しました。仲間たちには秋の初めに通知があったものの驚きの表情を浮かべて大きい拍手でお迎えしました。

足描き芸でライブ堪能

トップガンさんが「仲間たちにお笑いライブを堪能していただく」と実行委員と打ち



足描き芸をしているトップガンさん



橋本施設長の似顔絵「似てる〜」



トップガンさんとうれしい記念写真



「バックをいただきました」

ピンコ予測不可能！

だからおもしろい

合わせを重ねこの日披露したのは、「絵描き」であらしゅんさんがたいちさんの肩を借りて足の指にマジックをはさみ、器用にアニメキャラクターと橋本施設長の似顔絵を描いてくださいました。絵は、正解を答えられた仲間プレゼント。会場からは「似てる〜」という声が聞こえました。あらしゅんさん、足描き芸人としてもYouTube等にショート動画をあげられています。

クリスマス会恒例のピンコゲームが始まると、トップガンさんの軽快な司会に会場中が笑い声で包まれました。数字が読み上げられるたびに、みんなの表情がキラキラかがやきます。「あと1つなのに！〜」と身を乗り出す仲間もいれば、思いがけず数字がそろって「ピンゴ！」と声を上げる仲間もいて、そのたびに会場がぱっと明るくなります。なかなかそろわない人も、そろった人も、みんな最後まで夢中に。その光景は、まるで大きな

家族が一緒にドキドキを共有しているようで、あたたかく、優しく、胸がじんわりする時間でした。景品はクリスマスプレゼントとして選ばれていて、当たった順から仲間たちと保護者の皆さんが嬉しそうに持ち帰りました。

令和7年もあとわずか

最後には、1年の出来事を振り返るスライドショー上映がありました。わらしべの里の思い出が詰まった写真が次々と映し出されるたび、心がじんわり温まる時間となりました。





みんなでわくわく！屋台グルメの世界へ



太麺焼きそば、いただきます



みんなで食べるとおいしいね

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】時々晴れ間がのぞく冬空がひろがった令和7年12月2日。わらしべの家の仲間たちはワクワク気分です。前にNPO法人ハートフルふきあげとみはりの杜に到着しました。目的はもちろん、令和7年最後の枋木市障害者施設協議会交流事業です。その名も「お祭り屋台組合によるクリスマスプレゼント食事会」。名前からしておいしそうな予感たっぷりです。

食事とデザートをペロリ！

広大な芝生広場にシートとテーブルを広げ



満足、満足～！

ると、グループごとにさっそく屋台グルメの数々を取りに行きました。シューシュー香ばしい太麺焼きそば。シューシューな鶏のから揚げ。甘さと楽しさがつまったチョコバナナ。ふわふわの夢のようなわたあめはお土産に、といただきましたが、仲間たちは「これは食べないと帰れない！」とばかりに、次々とペロリ。笑顔が広場いっぱいになりました。

交流もプレゼント！

お腹を満たした後は、マスク越しのおしゃべりでくつろぎの時間を過ごしました。カメラに向かって笑顔をプレゼントしたり、友人との久しぶりの再会など、あちこちで小さな輪ができていました。食事だけでなく、心もほかほかになるクリスマスプレゼントです。

満足そうな表情を浮かべて

楽しい時間はあっという間に過ぎていきます。駐車場に停めてあった送迎車両に乗り込む頃には、「また来年ね」と笑顔が満開に咲いていました。



これからの行事

30日	18日	9日	26日	21日	8日	29日	17日	7日	24日	19日	27日	15日	22日	17日	4日	4月
嘱託医問診	誕生会（1人）	土曜開所	嘱託医問診	誕生会（5人）	土曜開所	嘱託医問診	誕生会（4人）	土曜開所	嘱託医問診	誕生会（1人）	嘱託医問診	誕生会（7人）	嘱託医問診	誕生会（8人）	土曜開所	行事予定
9月の行事予定			8月の行事予定			7月の行事予定			6月の行事予定			5月の行事予定			4月の行事予定	

いつも「わらしべの里通信」を読んでくれてありがとう!!



※月の第3金曜日の給食の前に仲間の会主催の誕生会を行います。
※月の最終週の水曜日は、嘱託医のバイタルチェックです



晩秋の土曜日にグループ外出しました



栃木特別支援学校にて

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】わらしべの家の仲間たちは、令和7年11月15日にAグループ・Dグループの4班に分かれ、テーブルで打ち合わせの後、晩秋の街中に出かけました。この日は、晴天に恵まれドライブに最高で、栃木特別支援学校のしらすぎ祭、遊園地、サイエンスパークなどで童心に返り科学にふれたり、紅葉狩り、誰もが集えるショッピングセンターで買い物や食を満喫したグループなど様々でした。

しらすぎ祭で恩師と再会

栃木特別支援学校しらすぎ祭は、コロナ禍以降初めての一般公開で長蛇の列。Aグループはその時点の最後尾につきました。「生徒が通ります」私にとってどこかで聞き覚えがある女性の声が廊下に響きます。ほどなくして生徒さんが出てきました。わらしべの家に実習に来られている生徒さんや令和7年度の



バイキング料理に舌鼓

巡回指導にお越しになられている先生と笑顔で挨拶を交わしました。同時に「数メートル先で会話している女性は、母校で平成6年4月から平成8年3月まで時間をともに過ごし大変お世話になった6歳違いの恩師では？」と私は考え、お声がけて再会し、渋滞が解消されるまで個人的に同窓会気分を味わうことができました。

社会に出るには、見習い期間が必要です

渋滞解消後、ビルクリーニングなどで培った技術を実際に披露しているのを見ることができました。生徒さんがはじめに取り組む姿が見られ、社会人29年の私でも「社会に出るには、専門的な技術や知識を学ぶ見習い期間が必要です」と考えさせられました。



きれいなメリーゴーランドに乗って プラネタリウムを鑑賞中

20年後も同じ夜空だったら、いいですね」と思いました。

楽しかったね
ひさしぶりのグループ外出を終え、午後3時30分には各車両が戻り、たくさんのお土産を抱え、「ただいま」、「ただいま」の大合唱を
するみんな。疲れ
ている表情も見え
たけど、充実した
表情にも見えまし
た。次のグループ
外出もたのしみで
す。

私のグループは：「しらすぎ祭」の見学を終え、特別支援学校を出る各車両。Aグループは、宇都宮市にあるサイエンスパークで童心に返り、科学にふれました。併設されているプラネタリウムで「プラネタリウムでいこう！不思議トラベル」を観賞しました。「案内役トラベルと一緒にいろいろな場所、いろいろな時代の星空を見てみましょう。大迫力の映像で時空を超えた不思議トラベルに出发です！」と紹介された夜空に入り込んだ45分間でした。国、時代を変えても見える夜空は変わりないようです。「なかなか夜空を見上げることが少ないけれど、10年後、





22回目を迎えたスポーツ交流会！

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】令和7年10月23日（木曜日）、栃木市障害者施設協議会主催のスポーツ交流会が行われました。

1年ぶりのわらしべの里Tシャツ

22回目の交流会。大川秀子栃木市長に「食べ物がおいしい秋ですが、運動の秋でもありません。身体を動かしてお友達も作ってください」と激励された開会式。この日は、7種目の競技（2回戦制）が行われました。わらしべの里の紅組は、開会式後に全員参加でロープを持ちリズムに合わせて隣に送っていくロープ送り、玉入れ、料理で使うおたまにお手玉を乗せ、203先にいる次の選手につないでいくゲーム「お玉リレー」まで競技の結果はオンラインワンのペアスで午前中を折り返しました。

競技の結果はオンラインワン！

友情も深める

午後は、12時40分すぎから車いすダンスを通じた交流からはじまりました。まず、車いすの方とペアを組まれた方の華麗なダンスを鑑賞し



おはようございます！



みんなで力を合わせて



アンカーの混むです

ました。全日本車椅子ダンス協会副理事長のお声がかけて、飛び入り参加させてもらい、そこからさらに笑顔の大きな花を咲かせていただきました。そのあと、紅白の紙皿を洞察力で紅チームは紅、白チームは白にひっくり返す競技「必殺！皿返し」、綱引きでもリレーでも、紅組はオンラインワンな記録を目指しました。

人気の支援員さんが盛り上げた交流会

今年のスポーツ交流会は、DJのように各事業所の人気がある支援員さんがあの手この手を使ってスポーツ交流会を盛り上げてくださいました。その傾向が強かったのはわらしべの里でした。最終種目のリレー。勝負の逆転もある場面でもモンストレーションに走りには自信にある理事長から看護師をそろえ、仲間にはわかりやすい説明を心がけていました。

閉会式で、白組の勝利が発表され交流会は幕を閉じました。7種目の競技や車いすダンスなどの交流を通して、体育館を後にする頃には思えば深い1日となっていました。



笑顔の大きな花を咲かせています



見ごたえのあった綱引き



秋のグループ外出に行ってきました



【今回の記事は、パソコン工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】わらしべの家の仲間たちは、令和7年10月18日にAグループ、Bグループ、Cグループに分かれ、テンプルで打ち合わせの後、秋の街中に出かけました。この日は、晴天に恵まれドライブに最高で、結城市でスパイシーなカレーを堪能し、カフェを楽しんだグループや誰もが集えるショッピングセンターで、買い物や食を満喫したグループなど様々でした。

僕のいたグループは：

僕のAグループは、佐野市にあるショッピングセンターに向かいました。本屋で欲しい本を見つける眼差しは真剣でした。午前11時過ぎから食事のためにフードコートに着席していたら、Cグループに遭遇。AグループのおとなりでCグループも食事の準備を整えました。準備が落ち着いたころからグループ外出の行程をとらえてきた何台ものスマートフォンお互いの笑顔をプレゼントし、骨付きの鶏肉を美味しそうに食べる仲間に、混むは目を奪われてしま



お馬さんとのふれあい



大きなナンを前に笑顔でピース

ました。

皆川にお城があった雰囲気を感じながら...

食事の後、佐野市犬伏交差点から皆川街道を栃木市方面に走って「皆川城址まつり」に立ち寄ったAグループ。わらしべの家は公園清掃業務を栃木市から委託され、城址公園内のごみ拾い等行なっています。仲間たちはおよそ630年前からお城があったと伝わる公民館で、お城の雰囲気と地域のつながりを感じていました。個人的には顔なじみの障がい福祉サービス事業所様の模擬店で、たこ焼き串とチュロスをした

楽しかったね

ひさしぶりのグループ外出を終え、午後3時30分には各車両が戻り、たくさんのお土産を抱え、「ただいま」、「ただいま」の大合唱をするみんな。疲れている表情も見えたけど、充実した表情にも見えました。次のグループ外出もたのしみです。



はいチーズ



こちらもおいしそう

市内の仲間たちと楽しめた日帰り旅行



汽車や寝台特急「北斗星」の前で

【今回の記事は、旅行に引率したわらしべの家第1作業所の職員がお伝えします】令和7年9月30日、この日は、栃木市障害者施設協議会の主催による日帰り旅行がありました。行き先は、茨城県筑西市にある「陸・海・空・宇宙のテーマパーク ユメノバ」と「道の駅 グランテラス筑西」でした。普段はそれぞれの施設に通い、作業をしている仲間たちとひさしぶりに会うことができ、「ひさしぶり」と再会を喜び声があちらこちらから聞こえました。

新幹線やヘリコプターが目の前に！

参加者が揃い、一路ユメノバへ向かいました。こちらは、航空博物館（ヘリコプター・戦闘機）、シールパーク（新幹線・北斗星）、消防自動車博物館、クラシックカー／



みんなで海外旅行に出発～！

クラシックバイク博物館、鉄道模型・ゲーム館、宇宙館など他にもたくさん展示コーナーがあり、どの展示もとても見応えがありました。

おいしいひととき

次は、昼食も兼ねて道の駅グランテラス筑西へ。多目的室で唐揚げと肉のみそ焼き弁当を食べ、おいしいひととき。大きな唐揚げを頬張り、満足満足。とてもおいしかったです。

食後は、スイーツを求めて売店へ。ジェラート屋さんなど何件かのお店があり、みんなそれぞれに甘いものを食べ、しあわせな気分になりました。ひと息つくとも楽しいおしゃべりタイム。顔馴染みにひさしぶりに会えて、「元気だった？病氣してない？」から始



この飛行機で大空を飛びたい

まり、日頃の作業のこと、家族のこと、好きな推しのアイドルやキャラクターなど会話に歯止めがかりません（笑）。あっという間に時間が過ぎて、お土産を購入しないと…バスの出発時間が迫っています。

楽しいお買いもの

買いものを楽しみながら、「お母さんにはこのお菓子かな？お父さんにはこっちはかな？」と家族の喜ぶ顔を思いながらお土産を選びました。帰りのバスでは、みんな疲れたようで夢のなかへ…解散する時には、みんなにお菓子のつめあわせが配られ、嬉しいプレゼント。「またね！次に会うときは、10月のスポーツ交流会かな！それまで元気に過ごそうね！」と声をかけあいながら、それぞれの施設へと帰って行きました。



日帰り旅行inアクアワールド大洗水族館



アシカのプリンちゃん、お見事！



本当に神秘的ですね



イルカの大ジャンプ！！



光に魅せられる仲間たち

「今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします」わらしべの家で働いている仲間たちは、令和7年9月26日日帰り旅行へ。アクアワールド大洗内では8グループで行動しました。大洗近海に住む生物から、マンボウやサメに出会うことができたグループや入館前に旅のお土産を購入するグループなど様々でした。中には引率に来ていた恩師に声をかけられ、挨拶をかわす仲間もいました。旅先の再会もいいものですね。

僕のいたグループでは…
混むが入ったグループは、アザラシくんのもぐもぐタイムを見学しに屋外へ。9月は毛が生え替わる時期で、体力を使うらしく食べても痩せるという言葉に「チョットいいな」と思って我に返ったら、周



水中ウォーキングしてるみたい！

りには沢山の幼稚園生がいすに腰掛けて昼食を食べているではありませんか。「今は、大人に成長した姪っ子たちにも、こんな時期があったな」と感慨にふけり、おなかも減り始めたので暗黒の海ゾーンで深海に生息する魚や様々なクラゲを見ながら多目的室へ。正午過ぎからお昼を楽しみました。

ダイナミックなショーに大興奮
昼食後、オーシャンライブを堪能しました。この日は、アシカのプリンがバランス感覚に優れたボール遊びや投げキッスをしてくれました。もちろんイルカも負けていません。投げられた輪を次々にキャッチしたり輪をくるくる回しながら泳いだりは朝飯前といった感じでした。さらに直径1メートルのビーチボールをイルカの尾びれで客席に向かってキックするビーチボールキックを披露していました。

楽しい時間は短く感じますね
仲間たちは、海の中の生態に目を丸くして水族館をあとに一路わらしべの里へ。帰りの車中へ。仲間の会長の印象に残っていること、イルカがくたしたのが凄かったと話した。他の仲間も胸に旅の思い出を話した。笑

た。顔思仲れたしがるていのはでへ。路族
でい間ま「た」らくる「イル」る印象のわら
帰出たました。話のシ回ルこと象のらし
宅をちした。し凄ヤ転力にに残のべ
し胸もた。し凄ヤ転力にに残のべ
ま旅他てかンしがつって会長の車
し笑ののくっプなくいて長中里



社会福祉法人わらしべの里

『わらしべの里通信』第63号(通巻77号)
※ 財団法人時代から数えて第77号となります
発行元 社会福祉法人わらしべの里
発行責任者 金坂 尚慶
〒328-0011 栃木市大宮町2708-3
電話 0282-27-1627
Fax 0282-27-1675
E-mail warashibenosato@cc9.ne.jp (事務所)
https://www.warashibenosato.com

わらしべの里

検索

〜 編集後記 〜
令和7年の秋は清々しく、厳しい冬を越え、ようやく麗らかな春を迎えました。この期間、仲間たちは生産活動に励みつつ、楽しい外出も楽しんでいきます。9月にはアクアワールド大洗へ日帰り旅行にかけ、改装後の館内でアシカやペンギンの豊かな表情や海の青さに魅了されました。グループ外出では、楽しい時間を過ごし仲間たちにとって充実した1日となったようです。笑顔があふれた温かなクリスマス会も印象的でした。こうした活動を支えてくださる支援員さんに、改めて感謝申し上げます。（混む）